# 名門復活と強い静商を定着させ、輝かしい戦績を残した見城喜哉野球部監督が転出

**在籍13年間に選手権大会優勝一回、準優勝三回、秋季静岡県大会優勝二回の戦績を残す**
**早稲田実業学校戦、慶応義塾高校戦など強豪校相手の関東遠征試合にも注力**
**同窓会関東支部活動に参画も**
**後任監督に大代茂雄野球部副部長が就任**
**春季静岡県大会は初戦で３位の飛龍高校に延長戦で惜敗**
**夏はノーシードで頂点を目指す。選手権大会優勝と準優勝三回中二回はノーシードからの躍進**

応援部会　長谷川　勉（S31年卒）

## 見城監督の静商野球部における戦績

3月に行われた静岡県教職員の人事異動で13年間母校の商業科教師として勤務し硬式野球部監督を務めた見城喜哉先生が、静岡市教育委員会教育総務課指導主事として転出された。

静岡女子商業高校、県立三島南高校、市立清水商業高校を経て平成12年に静岡商業高校に赴任。商業科教師として13年間勤務した。この間硬式野球部監督を務め、平成18年の第88回全国高等学校野球選手権静岡大会で実に32年振りに優勝し念願の甲子園大会出場を果たした。

「静岡商はノーシードながら一戦毎にたくましさを増す2年生の大野投手を軸に、冷静な判断で持ち味を引き出す増井捕手、犠打に足を絡めチャンスを確実に生かす攻撃力で最も厳しいゾーンを戦い抜いた。」

この記事は静岡県高等学校野球連盟の記録誌「あゆみ」の大会を顧みての一節を抜粋したものであるが、古豪復活に沸いた大会であったと結んでいる。もう一度大会を振り返ってみたい。（記録①）

次に31年ぶりに優勝した平成21年と平成23年の秋季大会優勝の記録（記録②）を記します。

**記録①**

**平成18年**
**第88回全国高等学校野球選手権静岡大会　戦績**

三回戦

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日大三島 | 000 | 022 | 000 | 000 | 3 | 7 |
| 静　商 | 102 | 010 | 000 | 000 | 4 | 8 |

（延長１３回　試合時間　６時間２０分）
投手　大野、松山
三塁打　宮崎２、鈴木　二塁打　瀧本、増井

準々決勝

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 静　商 | 001 | 020 | 000 | 3 | |
| 静　高 | 001 | 000 | 000 | 1 | |

投手　大野　本塁打　瀧本

準決勝

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 掛川西 | 000 | 000 | 000 | 0 | |
| 静　商 | 000 | 100 | 000 | 1 | |

投手　大野　二塁打　稲口、大野

決勝戦

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 浜　名 | 000 | 000 | 000 | 0 | |
| 静　商 | 010 | 000 | 10× | 2 | |

投手　大野　捕手　増井　二塁打　大野

見城監督在任中の主な戦績は以下のような好成績で強豪静商を不動のものとした。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **春季静岡県大会** | | | |
| 準優勝 | 1回 | 第3位 | 1回 |
| **選手権静岡大会** | | | |
| 優勝 | 1回 | 準優勝 | 3回 |
| ベスト4 | 1回 | ベスト8 | 1回 |
| **秋季静岡県大会** | | | |
| 優勝 | 2回 | 第3位 | 1回 |
| | | ベスト4 | 2回 |
| **国民体育大会** | | 第3位 | 1回 |

**記録②**

**平成２１年　第６２回秋季静岡県大会　決勝戦**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 静　商 | 100 | 012 | 002 | 6 |
| 東海大翔洋 | 001 | 000 | 000 | 1 |

※　３１年ぶりの優勝
投手　後藤　三塁打　飯塚　二塁打　羽山

**平成２３年　第６４回秋季静岡県大会　決勝戦**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 静　商 | 101 | 100 | 000 | 3 |
| 冨士市立 | 000 | 000 | 100 | 1 |

投手　中本

## 第60回 春季静岡県大会

静商は中部地区大会3位の成績で県大会に進出したが初戦で県大会3位の飛龍高校に延長10回3対4で惜敗した。この試合は3対1とリードした9回表にリリーフした期待の二年投手國松が死球からピンチを招き、二度のダブルスチールで揺さ振られ同点とされ、延長10回表に4番打者にホームランを浴び初戦で敗退した。この結果夏の大会はノーシードで頂点を目指すことになった。

平成10年以降の記録では16年間で春季県大会に進んだのは6回。6回のうち4回が初戦敗退で夏の大会のシード権確保はわずかに2度しかない。この間の選手権大会の戦績は優勝、準優勝三回、ベスト4、ベスト8各一回の好成績を残しているが、シードされ準優勝した昨年以外は優勝を含めて全てがノーシードからの勝ち上がりである。

この結果からも春季大会の結果を反省材料にした夏の大会での躍進は十分期待できるものと確信する。

尚、春季静岡県大会の結果は優勝　常葉菊川高校、準優勝　静岡高校、3位　飛龍高校であった。

## 第55回野球定期戦

今年は5月12日（日）に静岡市の西ヶ谷球場で開催される。昨年は8対3で4年ぶりに勝利し対戦成績を20勝34敗とした。対戦する静岡高校は昨年の秋季静岡県大会に優勝し実力を高く評価されている。プロ注目といわれる水野投手を中心とした投手力と切れ目のない攻撃陣の水準も高い。春季中部地区大会準決勝で対戦し、先制した2点を逆転され3対9で敗れている。定期戦で雪辱し伝統の一戦を盛り上げてほしい。

静商の戦力は27名の新入部員を迎え64名の大所帯になった。エースナンバーの左腕横馬投手は制球に若干の課題を残しているが、島田商業高校との地区大会3位決定戦で延長10回を完投、一本立ちを印象付けた。

4番小木曽を中心とする攻撃陣も二年生選手の台頭もあり層が厚くなった。打力強化を図る為に5月初旬に最新鋭のピッチングマシン「TOPGUN」を導入した。購入資金調達の為に野球部後援会、野球部OB会、ネット会協賛の募金活動を実施している。同窓会関東支部ホームページ上でも宗野支部長の発案で会員に対し協力を呼びかけている。

**第５５回定期戦速報**

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 静　商 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| 静　高 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | X 5 |